

吉林省 概況



吉林省（きつりんしょう、中国語発音：Jílín Shěng、英語：Jilin）
中華人民共和国東北部に位置する省。省都は長春市。

1 地形、気候

北部を黒竜江省、西部を内モンゴル自治区、南部を遼寧省と接す。また東部はロシアと接し、南東部は朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）と接する。中部には南から延びてきた遼東大平原が広がり、東部は長白山系を中心とする森林地帯、西部も大興安嶺の山岳地帯となっている。

気候区分は、大陸性モンスーン気候に属し、四季がはっきりしている。春は乾燥して風が強く、夏は雨が多く気温が高く、秋は晴天が多く、冬は寒く長い。省の南東部から北西部にいくにつれ、湿潤気候、半湿潤気候、半乾燥気候へと移行する。冬の平均気温は-11度を下回り、夏の平野部の平均気温は23度を上回り、吉林省の年間気温差は35～42度にも達する。吉林省の年間平均日照時間は2,259～3,016時間である。年間平均降水量は400～600mmだが、季節差や地域差が大きく、全降水量のうち80%が夏季に集中し、東部に多く降る。

2 歴史

12世紀前半、女真民族が金朝を樹立し、中国北部を支配した。金朝が滅亡し、元の時代に入ると、その統治の下で女真族は狩猟および農耕による生産活動を続けた。明朝末期になると、女真族は急速に勢力を拡大し、その後満洲族として周辺諸族を統合し清朝を樹立し中国全土を支配するようになった。

1907年、清朝により吉林省が正式に設置され、吉林府を省会とした、現在の吉林、黒竜江の大部分を管轄し、吉長、浜江（ハルビン）、依蘭（三姓）、延吉の四道を設置した。

中華民国が成立すると吉林省が設置されたが、初期はその統治権が及ばず、国民政府による行政権が及んだのは1928年1月の易幟以降である。その後は吉林県（永吉県）を省会とし、満洲事変まで沿襲された。この時期には朝鮮が日本に併合されたため、多くの朝鮮人が越境し現在の延辺朝鮮族自治州を中心に吉林省東部に移住し間島という地域を形成した（中華人民共和国成立後に民族自治州が設定された）。

1920年代以降、鉄道建設により交通の要衝であった長春県の経済的重要性が高まり、1932年の満洲国建国に際しては新京特別市となり、首都として吉林省から分離されている。

1945年の日本の敗戦以降、吉林省は国共内戦の舞台となった。1949年の中華人民共和国以降も吉林市（1947年設置）が省会とされたが、1954年に長春市に移転した。

現在は中国の経済発展に伴い、朝鮮族が多く居住する地域には大韓民国からの投資が活発に行われている。

3 概況（2023年）

別称	白山松水	
面積	187,400 km ²	
年末常住人口	2,339.41 万人（前年比 8.28 万人減）	
	<都市部> 1,514.07 万人 （同 17.89 万人増）	<農村部> 825.34 万人 （同 26.17 万人減）
	<男性> 49.89%	<女性> 50.11%
域内総生産（GRP）総額	1兆3,531.19 億元（前年比 6.3%増） 第一次産業：1,644.75 億元（同 5.0%増） 第二次産業：4,585.03 億元（同 5.9%増） 第三次産業：7,301.40 億元（同 6.9%増）	
1人当たり GRP	5万7,739 元（同 7.1%増）	
全省1人当たり可処分所得	3万7,503.49 元（同 5.7%増）	
輸出入総額	238.03 億ドル（同 1.8%増）	
	輸出総額 88.94 億ドル	輸入総額 149.10 億ドル
出生率	3.77‰	

4 指導者

◆黄強（こう・きょう） 吉林省党委員会書記

生年月：1963年4月（62歳）

出身地：浙江省東陽市

民族：漢族

主な職歴：

2006-2008年 国防科学技術工業委員会秘書長

2008-2014年 国防科学技術工業局副局長

2014-2017年 甘肅省副省長

2017-2018年 甘肅省党委員会常務委員、副省長
2018年 河南省党委員会常務委員
2018-2020年 河南省党委員会常務委員、副省長
2020-2021年 四川省党委員会副書記、代理省長
2021-2024年 四川省党委員会副書記、省長
2024-2025年 吉林省党委員会書記
2025年- 吉林省党委員会書記、省人大常務委員会主任

※中国共産党第20期全国代表大会代表、第20期中央委員

◆胡玉亭（こ・ぎょくてい） 吉林省省長

生年月：1964年7月（61歳）

出身地：山西省五台县

民族：漢族

主な職歴：

2016-2018年 山西省晋中市党委員会書記
2018-2019年 山西省委員会常務委員、秘書長
2019-2021年 山西省党委員会常務委員、副省長
2021-2023年 遼寧省党委員会副書記、大連市党委員会書記
2023年- 吉林省党委員会副書記、省長

※第20期中央委員

【参考資料】

- ・吉林統計年鑑 2024
- ・吉林省 2024年国民経済・社会発展統計公報
- ・吉林省人民政府 HP
- ・百度百科